

令和4（2022）年度4月期入学

金沢大学大学院人間社会環境研究科  
（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項

一 般 選 抜  
社 会 人 特 別 選 抜  
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

令和3（2021）年11月

（注意）

出願する入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

（新型コロナウイルス感染症に関する本学大学院入学試験における対応）

今後の状況の変化により、急遽、入試実施日、選考方法も含めて変更等が生じる場合があります。その場合は、人間社会環境研究科Webサイトでお知らせいたします。



金沢大学  
KANAZAWA  
UNIVERSITY

## 学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

人間社会環境研究科博士後期課程の人材養成目的は、人間社会環境という多分野横断的な研究領域で活躍できる創造性豊かな大学教員、研究者及び高度専門職業人を育成することです。

したがって本専攻では、それぞれの伝統的な学問分野における高い専門能力を持つだけでなく、それを基礎に置きながら、総合性を生かした視点から先端的な研究をさらに進めるため、他者に対する開かれた態度、異文化を尊重する広い心、それらに対する積極的な興味、未知の現象に対する柔軟な発想、そして論理性への強い志向を備えている者を求めています。

そのために入学時に身につけているべき能力として、適確に研究課題を設定し、着実に研究を遂行する計画立案能力、堅実な成果を可能にする研究技法、成果をとりまとめ分析考察して論文にまとめる論文作成能力を求めます。

令和4(2022)年度4月期入学  
金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士後期課程）  
学 生 募 集 要 項  
一 般 選 抜  
社 会 人 特 別 選 抜  
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

本募集要項（英語版）を人間社会環境研究科Webサイト（英語版）に掲載しています。

[http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/en/admissions/adm\\_doctor/](http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/en/admissions/adm_doctor/)



### 1. 募 集 人 員

専 攻 名	募 集 人 員
	一般選抜， 社会人特別選抜， 外国人留学生特別選抜
人間社会環境学専攻	12名

### 2. 出 願 資 格

各選抜に出願することができる者は、下表の①～⑧各号のいずれかに該当する者とします。

その他、下記選抜においては、上記に加えて次の出願資格を満たす必要があります。

社会人特別選抜：(7)(イ)のいずれかを満たす者

(7) 官公庁，企業，事務所，団体，学校等に在職中であり，かつ，在職のまま後期課程の修了を目指す者

(イ) 修士の学位又は専門職学位を有し，入学時において社会人としての経験を有する者

外国人留学生特別選抜：日本国籍を有しない者

出願資格（一般選抜， 社会人特別選抜， 外国人留学生特別選抜）	
①	修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和4(2022)年3月31日までに取得見込みの者
②	外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4(2022)年3月31日までに授与見込みの者
③	我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4(2022)年3月31日までに授与見込みの者
④	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4(2022)年3月31日までに授与見込みの者
⑤	国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4(2022)年3月31日までに授与見込みの者

- |   |
|---|
| <p>⑥ 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）<br/>大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、本研究科において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの</p> |
| <p>⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和4（2022）年3月31日までに24歳に達するもの</p>   |
| <p>⑧ 外国の学校、上記③の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び令和4（2022）年3月31日までに合格見込みの者で、本研究科において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの</p>  |

※出願資格 ⑥～⑧ により出願を希望する者は、出願に先立ち、出願資格審査を行いますので、下記の出願資格審査を参照してください。

※「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」制度について

本研究科では、在職者等必要がある者に対して、「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」の制度があります。この制度を利用することで、人間社会環境研究科規程等に定められた教育課程に基づき、担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

制度の適用について、入学志願票の14条特例希望欄にチェックしてください。

また、受験承諾書（所定の用紙）を提出してください。

参 考：大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）「抄」

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

なお、同第2条の2（専ら夜間において教育を行う大学院の課程）には該当しません。

本研究科は昼夜開講制です。

## 出願資格審査

出願資格⑥～⑧により出願を希望する者は、出願に先立ち、出願資格の審査を行いますので、事前にお問合せの上、「3. 出願手続」に示す所定の提出書類（出願確認票（提出用）及び宛名ラベルを除く。）を令和3（2021）年12月2日（木）午後5時（必着）までに本学人間社会系事務部学生課入試係へ提出してください。

なお、郵送の場合は、封筒の表に「博士後期課程 出願資格審査関係書類在中」と朱書きしてください。

出願資格審査の結果は12月中旬に送付します。資格有りの場合、出願資格審査時に提出した書類を出願書類として受領します。「3. 出願手続」に従い、出願情報の登録、入学検定料の支払い及び証明写真のアップロードを行った上で、出願期間中に「出願確認票（提出用）」を本学人間社会系事務部学生課入試係へ提出してください。

### 3. 出願手続

#### (1) 出願期間

**令和4(2022)年1月6日(木)午前9時から1月13日(木)午後5時まで**

(Web出願システムは、令和4(2022)年1月4日(火)午前9時から事前登録が可能)

出願書類は、郵送(書留速達郵便又はEMSに限る)するものとし、**令和4(2022)年1月13日(木)までの必着**とします。ただし、出願期間後に到着した出願書類のうち、令和4(2022)年1月12日(水)までの日本国内の発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します(EMSは除く)。

#### (2) 出願方法

○Web出願の流れ



##### ①Web出願システム

Web出願システムへは、本学(入試情報)Webサイト(本学トップページ>教育>入試情報)  
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>からアクセスできます。

##### ②出願書類送付先

〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学人間社会系事務部学生課入試係  
(宛名ラベルに印字されています。)



##### 〈注意〉

Web出願は、出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは、完了しません。出願期間内に、証明写真のアップロード及び提出書類の郵送(出願期間内に必着)を済ませ、内容に不備がなかった場合完了とします。

#### (3) 出願書類等

##### ①Web出願システムでアップロード作業が必要なもの

証明写真データ	Web出願システムで登録及び入学検定料支払後、登録完了メールに記載のURLから、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 (注) 志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近3ヶ月以内に撮影した100KB~5MBのjpg又はpng形式のデータを使用してください。
---------	---

##### ②Web出願システムから印刷するもの(印字されている内容に誤りがないか確認してください。)

出願確認票(提出用)	Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷し、提出してください。 (注) 出願確認票は、入学検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。出願確認票(確認用)とは異なるので、注意してください。
宛名ラベル	Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷したものを送付用の封筒に貼付けてください(普通紙印刷で糊付け可)。 (注) 封筒は、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を使用し、書留速達(又はEMS)で郵送してください。

③その他必要な提出書類

各所定の様式は、本研究科Webサイトからダウンロード・印刷（A4サイズ）してご利用ください。

なお、各書類への記入は、パソコン入力又はボールペンによる自筆で行ってください。

※本研究科Webサイト

[http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm\\_doctor/](http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_doctor/)



<p>入学志願票</p>	<p>本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用（2ページ参照）の適用を希望する者は、14条特例適用希望欄にチェックしてください。 長期履修制度（9ページ参照）の申請を希望する者は、長期履修制度申請希望欄にチェックしてください。 改姓されている場合は、改姓後の氏名を記載願います。（旧姓での記載をしないでください。）</p>
<p>修了（見込）証明書 （学位授与証明書）</p>	<p>(1) 出願資格の①～⑤により出願する者は、出身大学の大学院修士課程、博士前期課程又は専門職学位課程修了（見込み）証明書（修了証明書で、取得学位が確認できない場合は、学位授与証明書も提出）。 なお、本学大学院人間社会環境研究科博士前期課程修了（見込み）の者は提出不要です。 (2) 出願資格の⑥～⑧により出願する者は、最終学歴の学校長が作成した修了（見込み）証明書。 （注）証明書は、日本語又は英語で作成されたものがが必要です。</p>
<p>学業成績証明書</p>	<p>(1) 出願資格の①～⑤により出願する者は、出身大学院の研究科長（又は学長等）が作成したもの。 (2) 出願資格の⑥～⑧により出願する者は、最終学歴の学校長等が作成したもの。（修得科目名及び単位数が記載されているもの） （注）証明書は、日本語又は英語で作成されたものがが必要です。</p>
<p>出願資格⑧に関する書類</p>	<p>出願資格⑧により出願を希望する者のみ 出身大学長等が作成したもので、下記の内容が記載された文書及び添付書類（外国語の場合は日本語訳もしくは英訳を添付してください。） 【記載例】 □□大学としては、本学の学生である◇◇ ◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する次の添付資料を同封します。 【添付書類の例】 ・当該審査の合格基準 ・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す書類 当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す書類</p>
<p>提出論文等</p>	<p>(1) 出願資格：①～⑤により出願する者は、修士論文（又は修士論文に代わる論文）の写しを3部提出してください。 (2) 出願資格：⑥～⑧により出願する者は、研究論文、大学卒業後の教育・研究機関や地方自治体、企業等における調査研究報告書等又はその写しを3部提出してください。（共同執筆の場合は、志願者の執筆担当箇所を明示してください。）</p> <p>(1)及び(2)ともに、日本語（1,000字程度）又は英語（300ワード程度）による論文の概要を3部添付してください。 なお、すでに公表した研究論文等があれば、研究業績リスト（本学研究科所定の様式による。）にすべてを記載し、かつ、その中で特に主要なものの別刷又はその写しを3部添付してください。 また、未公表の研究論文等を審査のための参考資料として提出すること</p>

	も可とします。その場合は、提出する参考資料のリスト（様式自由）を作成し、参考資料又はその写しを3部提出してください。
研究計画書	(1) 本研究科所定の様式によること。 (外国人留学生特別選抜の者は、これまでの研究経過及び本研究科における研究計画等について具体的に記入してください。) (2) <b>志願者は、出願前に必ず主任指導予定教員の承諾を得てください。</b>
受験承諾書 (社会人特別選抜のみ提出)	在職のまま出願する者は、受験承諾書（所定の用紙）を提出してください。 なお、出願時に提出できない場合は、入学手続き時に承諾書等を提出することとなります。
その他 (外国人のみ提出)	外国人の志願者は、次の書類を提出してください。 ○パスポート（本人の氏名、生年月日、性別）の写し なお、日本に在留する外国人は、次の書類も併せて提出してください。 ○在留カード（表・裏）の写し

- 《注》 1. 証明書等の氏名が入学願書等に記載する氏名と異なる場合（改姓している場合等）には、改姓等の事実が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。
2. 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
3. 出願手続後の書類の変更、提出書類の返却はしません。
4. 出願書類等に虚偽の記載又は不正な申告があったときは、入学後でも入学を取り消すことがあります。また、その場合、振り込まれた入学料については返納しません。

#### (4) 入学検定料の支払

##### ① 入学検定料 30,000円

入学検定料のほかに、支払手数料として別途990円が必要です。

学内進学者（本学の大学院博士前期課程又は修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学する者）及び国費外国人留学生は、入学検定料の支払は不要です。出願する前に、人間社会系事務部学生課入試係 ([n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp)) へ連絡してください。

##### ② 支払方法

コンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easyでの支払）、クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club）及びネットバンキング（PayPay銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。）のいずれかで支払可能です。

（注）1. 支払を完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払前に入力した出願情報（特にメールアドレスや電話番号）に間違いがないか確認してください。

- 銀行窓口での支払はできません。
- コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。
- クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
- 出願書類受領後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。ただし、入学検定料の支払後、出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので、下記まで連絡してください。

担当 財務部財務管理課出納係

〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-264-5066

E-mail [syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp)

## 4. 受験票の印刷

令和4(2022)年1月25日(火)頃に、Web出願登録サイトより受験票の印刷が可能になります。「申込確認画面」からログインし、A4サイズで印刷してください。

- (1) 受験票には、受験上の注意・試験会場案内が確認できるWebサイトのURL及び2次元バーコードがあります。必ずアクセスして内容を確認の上、受験してください。
- (2) 氏名等に間違いがある場合には、人間社会系事務部学生課入試係へ連絡してください。  
連絡先 [n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp)
- (3) 試験当日は、印刷した「受験票」を必ず持参してください。
- (4) 受験番号は、入学手続にも必要です。それまで「受験票」は大切に保管してください。

## 5. 入学者選抜方法

一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜

選抜は、口述試験、研究計画書、提出論文等及び出願書類の審査結果を総合して行われます。

口述試験 修士論文等(又は概要、研究論文、調査研究報告書等)及び研究計画書を中心に  
行います。

研究上必要な外国語の能力を問うことがあります。

なお、社会人特別選抜において、研究上必要な外国語能力のほか、社会経験を生かした専門知識を問うことがあります。

また、外国人留学生特別選抜において、研究上必要な場合は、日本語の能力も問うことがあります。

## 6. 試験日時(一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜)

試験日	試験科目	試験時間
令和4(2022)年 2月14日(月)	口述試験	午前9時30分～午後5時45分 ※上記時間内で指定する時間(1時間)

※口述試験開始時刻の20分前までに、受験者控室に集合してください。

## 7. 試験場

石川県金沢市角間町 金沢大学大学院人間社会環境研究科(詳細は受験票印刷時に確認)

## 8. 合格者発表

令和4(2022)年2月22日(火) 午後4時(予定)

合格者の受験番号を本学所定の掲示板(人間社会第2講義棟学生課前掲示板)及び研究科Webサイトにおいて発表するとともに、合格者にのみ合格通知書を送付します。また、金沢大学(入試情報)Webサイトの「オンライン合否照会システム」から合否の確認をすることができます。なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト

<http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

オンライン合否照会システム

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/goukakusyahappyou>





## 9. 入学手続等

### (1) 入学手続

合格者発表後に送付する「入学手続要項」により所定の期日までに入学手続を行ってください。

なお、海外在住の外国人留学生は、合格後に銀行口座残高証明書（残高100万円以上）の提出が求められます（在留資格認定証明書（COE）交付申請のため）。

### (2) 授業料等納付金

#### ア. 入学料 282,000円（予定）

本学大学院博士前期課程・修士課程修了後、引き続き博士後期課程に進学する者及び国費外国人留学生は、入学料の納入は不要です。

#### イ. 授業料（半期分） 267,900円（予定） [年額 535,800円（予定）]

《注》 1. 上記の納付金額は予定額であり、入学時又は在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

2. 授業料の納入は、預金口座振替（届出口座）から指定日に自動引落により納入する方法）となっています。

3. 国費外国人留学生は、授業料の納入は不要です。

#### ウ. 学生教育研究災害傷害保険料及び学研災付帯賠償責任保険料 3,620円（3年分）

なお、外国人留学生へは学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総）への加入を強く推奨します。

## 10. 英語外部検定試験の受験について

※本研究科では英語能力強化の一環として、原則、一定の基準を満たす英語の外部検定試験のスコアの取得を修了要件の一つとしています。

※ただし、以下のいずれかに該当する者は、英語検定試験の受験が免除されます。免除されるためには、「英語検定試験受験免除申請書」を提出し、審査を受ける必要があります。

- ①TOEIC(L&R) 760点, TOEFL-iBT 80点, TOEFL-ITP 550点又はIELTS 6.0以上のスコアを持つ者
- ②社会人特別選抜により本研究科に入学した者
- ③英語母語話者(一般に英語を公用語とする国に生まれ育ち、英語を第一言語として獲得した者)
- ④その他研究科長が特に認めた者

※学内の各種助成制度により、受験料の一部又は全部の補助を受けられる可能性があります。

## 11. 障がいのある者等の事前相談

入学志願者で、障がい等があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、令和3(2021)年12月2日(木)までに次の書類を本学人間社会系事務部学生課入試係に提出し、相談してください。

### (1) 出願に伴う事前相談書（次の事項について記載したもの。様式は自由）

- ・ 氏名、住所、連絡先、志望コース名
- ・ 障がいの種類・程度
- ・ 受験及び修学に配慮を希望する事項
- ・ 大学等で配慮されていた事項
- ・ 日常生活の状況
- ・ その他参考となる事項

### (2) 医師の診断書（写しも可）

### (3) その他の参考書類等（障害者手帳の写し等）

## 12. 金沢大学独自の奨学金制度

金沢大学は外国人留学生を対象として、奨学金制度を設けています。  
詳しくは以下のWebサイトをご覧ください。

<https://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ie/e/abroad/scholarship.html>

また、募集要項末尾の「次世代精鋭人材創発プロジェクト」も確認してください。



## 13. 個人情報の保護

金沢大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出する書類に記載されているすべての個人情報は、当該研究科の学生募集要項で明示した利用目的のほか、次の業務で利用します。

- (1) 入学者選抜及び入学手続きに関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- (8) 卒業・修了者に対する学修成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

## 14. 参 考 資 料

入学年度	人間社会環境学専攻		
	入学志願者数	合格者数	入学者数
2012年度（4月期）	11	10	10
2012年度（10月期）	6	6	6
2013年度（4月期）	19	14	14
2013年度（10月期）	3	3	3
2014年度（4月期）	24	13	13
2014年度（10月期）	4	2	2
2015年度（4月期）	20	15	13
2015年度（10月期）	2	2	2
2016年度（4月期）	25	15	14
2016年度（10月期）	3	2	2
2017年度（4月期）	25	17	15
2017年度（10月期）	8	8	2
2018年度（4月期）	16	11	11
2018年度（10月期）	4	4	4
2019年度（4月期）	13	13	12

2019年度（10月期）	1	1	1
2020年度（4月期）	16	12	11
2020年度（10月期）	4	4	5 <sup>*1</sup>
2021年度（4月期）	14	9	9
2021年度（10月期）	3	3	3

\*1 合格者数より入学者数が多くなっているのは、新型コロナウイルスの影響により、2020年度（4月期）合格者1名の入学時期を延期したため（特例）

## 長期履修

### ■ 仕事や育児などを続けながら履修できます。（在留資格が「留学」の外国人留学生は適用できません。）

人間社会環境研究科では、仕事あるいは家事、育児、介護等に就いている人たちのために、長期履修制度を設けています。この制度を利用すれば、学則に規定される在学年限の範囲内（原則として博士後期課程6年）で、長期履修期間を設定することができます。これによって、社会人の方のさまざまな学修需要に対応し、多様で柔軟な学修機会を提供します。

なお、授業料は標準修業年限分（博士後期課程は3年）を長期履修期間に分けて納めます。

## 15. 自然災害により被災された受験生の皆さまへ

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学のを確保するため、入学検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細は、金沢大学Webサイトを確認してください。

金沢大学（入試情報）Webサイト：

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



入学検定料の免除を希望する者は、出願前に本学学務部入試課まで連絡してください。

人間社会環境学専攻  
授業科目及び担当教員

■人文学コース

現代思想研究Ⅰ・Ⅱ	山本 英輔	
現代思想演習Ⅰ・Ⅱ	山本 英輔	
比較思想文化論Ⅰ・Ⅱ	三浦 要	●
比較思想文化論演習Ⅰ・Ⅱ	三浦 要	●
人間行動発生論Ⅰ・Ⅱ	小島 治幸	
人間行動発生論演習Ⅰ・Ⅱ	小島 治幸	
学習行動論Ⅰ・Ⅱ	谷内 通	
学習行動論演習Ⅰ・Ⅱ	谷内 通	
人格・発達論Ⅰ・Ⅱ	岡田 努	
人格・発達論演習Ⅰ・Ⅱ	岡田 努	
発達障害評価・支援論Ⅰ・Ⅱ	吉川 一義	
発達障害評価・支援論演習Ⅰ・Ⅱ	吉川 一義	
コミュニケーション支援論Ⅰ・Ⅱ	武居 渡	
コミュニケーション支援論演習Ⅰ・Ⅱ	武居 渡	
生活指導論Ⅰ・Ⅱ	上森さくら	
生活指導論演習Ⅰ・Ⅱ	上森さくら	
臨床発達論Ⅰ・Ⅱ	滝口 圭子	
臨床発達論演習Ⅰ・Ⅱ	滝口 圭子	
比較社会意識論Ⅰ・Ⅱ	轟 亮	
比較社会意識論演習Ⅰ・Ⅱ	轟 亮	
計量社会学Ⅰ・Ⅱ	小林 大祐	
計量社会学演習Ⅰ・Ⅱ	小林 大祐	
社会階層論Ⅰ・Ⅱ	岩本 健良	
社会階層論演習Ⅰ・Ⅱ	岩本 健良	
映像文化論Ⅰ・Ⅱ	久保 豊	
映像文化論演習Ⅰ・Ⅱ	久保 豊	
共生社会環境論Ⅰ・Ⅱ	南 相璽	
共生社会環境論演習Ⅰ・Ⅱ	南 相璽	
産業空間論Ⅰ・Ⅱ	宇根 義己	
産業空間論演習Ⅰ・Ⅱ	宇根 義己	
農村空間論Ⅰ・Ⅱ	吉田 国光	
農村空間論演習Ⅰ・Ⅱ	吉田 国光	
社会環境論Ⅰ・Ⅱ	中島 弘二	
社会環境論演習Ⅰ・Ⅱ	中島 弘二	
歴史認識・社会認識教育論Ⅰ・Ⅱ	村井 淳志	○
歴史認識・社会認識教育論演習Ⅰ・Ⅱ	村井 淳志	○
日本中世文化史Ⅰ・Ⅱ	黒田 智	
日本中世文化史演習Ⅰ・Ⅱ	黒田 智	
日本中世宗教史Ⅰ・Ⅱ	平瀬 直樹	○
日本中世宗教史演習Ⅰ・Ⅱ	平瀬 直樹	○
日本近世文化史Ⅰ・Ⅱ	山本 洋	
日本近世文化史演習Ⅰ・Ⅱ	山本 洋	
日本近現代都市社会史Ⅰ・Ⅱ	能川 泰治	
日本近現代都市社会史演習Ⅰ・Ⅱ	能川 泰治	
東アジア古代史論Ⅰ・Ⅱ	安部聡一郎	
東アジア古代史論演習Ⅰ・Ⅱ	安部聡一郎	
東アジア国際交流史論Ⅰ・Ⅱ	古畑 徹	●
東アジア国際交流史論演習Ⅰ・Ⅱ	古畑 徹	●
アジア社会構造論Ⅰ・Ⅱ	古市 大輔	
アジア社会構造論演習Ⅰ・Ⅱ	古市 大輔	

地中海社会史論 I・II	根津由喜夫
地中海社会史論演習 I・II	根津由喜夫
ヨーロッパ中近世社会史論 I・II	田中 俊之
ヨーロッパ中近世社会史論演習 I・II	田中 俊之
ヨーロッパ近現代社会史論 I・II	堀内 隆行
ヨーロッパ近現代社会史論演習 I・II	堀内 隆行
ヨーロッパ近世史論 I・II	石黒 盛久
ヨーロッパ近世史演習 I・II	石黒 盛久
東西文化交流史論 I・II	足立 拓朗
東西文化交流史論演習 I・II	足立 拓朗
言語構造類型論 I・II	入江 浩司
言語構造類型論演習 I・II	入江 浩司
言語構造論 I・II	新田 哲夫 ○
言語構造論演習 I・II	新田 哲夫 ○
言語科学論 I・II	堀田 優子
言語科学論演習 I・II	堀田 優子
言語認知科学実験法 I・II	安永 大地
言語認知科学実験演習 I・II	安永 大地
認知言語論 I・II	渋谷 良方
認知言語論演習 I・II	渋谷 良方
応用言語学 I・II	松田真希子
応用言語学演習 I・II	松田真希子
談話言語論 I・II	大江 元貴
談話言語論演習 I・II	大江 元貴
社会言語論 I・II	西嶋 義憲 ○
社会言語論演習 I・II	西嶋 義憲 ○
対照言語学 I・II	守屋 哲治
対照言語学演習 I・II	守屋 哲治
日本語構造論 I・II	高山 知明
日本語構造論演習 I・II	高山 知明
日本民俗研究 I・II	清水 邦彦
日本民俗演習 I・II	清水 邦彦
日本現代言語文化論 I・II	杉山 欣也
日本現代言語文化論演習 I・II	杉山 欣也
アジア文化構造論 I・II	上田 望
アジア文化構造論演習 I・II	上田 望
ドイツ言語文化論 I・II	志村 恵 ○
ドイツ言語文化論演習 I・II	志村 恵 ○
ヨーロッパ言語文化論 I・II	阪上るり子 ●
ヨーロッパ言語文化論演習 I・II	阪上るり子 ●
フランス文学論 I・II	岩津 航
フランス文学論演習 I・II	岩津 航
比較先史文化論 I・II	中村 慎一 ○
比較先史文化論演習 I・II	中村 慎一 ○
中南米先史文化論 I・II	中村 誠一 ○
中南米先史文化論演習 I・II	中村 誠一 ○
古代エジプト文明論 I・II	河合 望
古代エジプト文明論演習 I・II	河合 望
仏教文化史 I・II	森 雅秀
仏教文化史演習 I・II	森 雅秀
アジア宗教建築史 I・II	矢口 直道
アジア宗教建築史演習 I・II	矢口 直道
地域社会変化論 I・II	西本 陽一
地域社会変化論演習 I・II	西本 陽一
文化人類学 I・II	アベ・デイヴィッド
文化人類学演習 I・II	アベ・デイヴィッド

現代人類学Ⅰ・Ⅱ	田村うらら
現代人類学演習Ⅰ・Ⅱ	田村うらら
美術史学Ⅰ・Ⅱ	菅原 裕文
美術史学演習Ⅰ・Ⅱ	菅原 裕文

※氏名欄右の○は、2023年3月に退職予定の教員です。

※氏名欄右の●は、2024年3月に退職予定の教員です。

■法学・政治学コース

法理学研究Ⅰ・Ⅱ	足立 英彦
法理学演習Ⅰ・Ⅱ	足立 英彦
東洋法制史研究Ⅰ・Ⅱ	中村 正人
東洋法制史演習Ⅰ・Ⅱ	中村 正人
日本法制史研究Ⅰ・Ⅱ	丸本由美子
日本法制史演習Ⅰ・Ⅱ	丸本由美子
外国法研究Ⅰ・Ⅱ	東川 浩二
外国法演習Ⅰ・Ⅱ	東川 浩二
憲法研究Ⅰ・Ⅱ	山崎 友也
憲法演習Ⅰ・Ⅱ	山崎 友也
行政法研究Ⅰ・Ⅱ	長内 祐樹
行政法演習Ⅰ・Ⅱ	長内 祐樹
税財政法研究Ⅰ・Ⅱ	平川 英子
税財政法演習Ⅰ・Ⅱ	平川 英子
国際法研究Ⅰ・Ⅱ	稲角 光恵
国際法演習Ⅰ・Ⅱ	稲角 光恵
刑法研究Ⅰ・Ⅱ	永井 善之
刑法演習Ⅰ・Ⅱ	永井 善之
刑事訴訟法研究Ⅰ・Ⅱ	大貝 葵/佐藤 美樹
刑事訴訟法演習Ⅰ・Ⅱ	大貝 葵/佐藤 美樹
労働法研究Ⅰ・Ⅱ	早津 裕貴
労働法演習Ⅰ・Ⅱ	早津 裕貴
社会保障法研究Ⅰ・Ⅱ	石田 道彦
社会保障法演習Ⅰ・Ⅱ	石田 道彦
民法研究Ⅰ・Ⅱ	合田 篤子
民法演習Ⅰ・Ⅱ	合田 篤子
民法研究BⅠ・Ⅱ	石尾 智久
民法演習BⅠ・Ⅱ	石尾 智久
民事訴訟法研究Ⅰ・Ⅱ	福本 知行
民事訴訟法演習Ⅰ・Ⅱ	福本 知行
商法研究Ⅰ・Ⅱ	村上 裕
商法演習Ⅰ・Ⅱ	村上 裕
商法研究BⅠ・Ⅱ	脇田 将典
商法演習BⅠ・Ⅱ	脇田 将典
経済法研究Ⅰ・Ⅱ	洪 淳康
経済法演習Ⅰ・Ⅱ	洪 淳康
知的財産法研究Ⅰ・Ⅱ	大友 信秀
知的財産法演習Ⅰ・Ⅱ	大友 信秀
公共政策論研究Ⅰ・Ⅱ	木村 高宏
公共政策論演習Ⅰ・Ⅱ	木村 高宏
政策過程論研究Ⅰ・Ⅱ	河合 晃一
政策過程論演習Ⅰ・Ⅱ	河合 晃一
地方自治論研究Ⅰ・Ⅱ	本田 哲也
地方自治論演習Ⅰ・Ⅱ	本田 哲也

計量政治学研究Ⅰ・Ⅱ	岡田 浩
計量政治学演習Ⅰ・Ⅱ	岡田 浩
政治思想史研究Ⅰ・Ⅱ	仲正 昌樹
政治思想史演習Ⅰ・Ⅱ	仲正 昌樹
政治コミュニケーション研究Ⅰ・Ⅱ	横山 智哉
政治コミュニケーション演習Ⅰ・Ⅱ	横山 智哉
国際政治史研究Ⅰ・Ⅱ	宋 安鍾
国際政治史演習Ⅰ・Ⅱ	宋 安鍾
環境政策論研究Ⅰ・Ⅱ	大野 智彦
環境政策論演習Ⅰ・Ⅱ	大野 智彦
現代中国研究Ⅰ・Ⅱ	古泉 達矢
現代中国演習Ⅰ・Ⅱ	古泉 達矢
国際関係論研究Ⅰ・Ⅱ	中野 涼子
国際関係論演習Ⅰ・Ⅱ	中野 涼子

※氏名欄右の○は、2023年3月に退職予定の教員です。

※氏名欄右の●は、2024年3月に退職予定の教員です。

■社会経済学コース

応用経済学Ⅰ・Ⅱ	藤澤美恵子
応用経済学演習Ⅰ・Ⅱ	藤澤美恵子
上級マクロ経済学特論Ⅰ・Ⅱ	大木 一慶
上級マクロ経済学演習Ⅰ・Ⅱ	大木 一慶
上級経済統計学Ⅰ・Ⅱ	星野 伸明
上級経済統計学演習Ⅰ・Ⅱ	星野 伸明
上級政治経済学Ⅰ・Ⅱ	瀬尾 崇
上級政治経済学演習Ⅰ・Ⅱ	瀬尾 崇
近現代日本経済史Ⅰ・Ⅱ	小林 信介
近現代日本経済史演習Ⅰ・Ⅱ	小林 信介
アジア社会経済史Ⅰ・Ⅱ	弁納 才一
アジア社会経済史演習Ⅰ・Ⅱ	弁納 才一
経済発展論Ⅰ・Ⅱ	正木 響
経済発展論演習Ⅰ・Ⅱ	正木 響
国際経済史Ⅰ・Ⅱ	千葉 芳広
国際経済史演習Ⅰ・Ⅱ	千葉 芳広
国際貿易論Ⅰ・Ⅱ	加藤 篤行
国際貿易論演習Ⅰ・Ⅱ	加藤 篤行
開発経済学Ⅰ・Ⅱ	和田 一哉
開発経済学演習Ⅰ・Ⅱ	和田 一哉
金融システム論Ⅰ・Ⅱ	加藤 峰弘
金融システム論演習Ⅰ・Ⅱ	加藤 峰弘
国際金融関係論Ⅰ・Ⅱ	佐藤 秀樹
国際金融関係論演習Ⅰ・Ⅱ	佐藤 秀樹
新興国金融論Ⅰ・Ⅱ	塩谷 雅弘
新興国金融論演習Ⅰ・Ⅱ	塩谷 雅弘
財政学Ⅰ・Ⅱ	碓山 洋
財政学演習Ⅰ・Ⅱ	碓山 洋
自治体財政論Ⅰ・Ⅱ	武田 公子
自治体財政論演習Ⅰ・Ⅱ	武田 公子
観光情報学Ⅰ・Ⅱ	井出 明
観光情報学演習Ⅰ・Ⅱ	井出 明
観光まちづくり論Ⅰ・Ⅱ	川澄 厚志
観光まちづくり論演習Ⅰ・Ⅱ	川澄 厚志

地域経済システム論Ⅰ・Ⅱ	佐無田 光
地域経済システム論演習Ⅰ・Ⅱ	佐無田 光
エコロジー経済論Ⅰ・Ⅱ	市原あかね ○
エコロジー経済論演習Ⅰ・Ⅱ	市原あかね ○
公害・環境教育論Ⅰ・Ⅱ	土井 妙子
公害・環境教育論演習Ⅰ・Ⅱ	土井 妙子
自然文化資源コミュニケーションⅠ・Ⅱ	山田菜緒子
遺産資源コミュニケーション演習Ⅰ・Ⅱ	山田菜緒子
社会福祉論Ⅰ・Ⅱ	森山 治
社会福祉論演習Ⅰ・Ⅱ	森山 治
上級社会保障論Ⅰ・Ⅱ	村上 慎司
上級社会保障論演習Ⅰ・Ⅱ	村上 慎司
上級社会政策論Ⅰ・Ⅱ	小澤 裕香
上級社会政策論演習Ⅰ・Ⅱ	小澤 裕香
福祉・医療社会学Ⅰ・Ⅱ	高橋 涼子
福祉・医療社会学演習Ⅰ・Ⅱ	高橋 涼子
社会システム論Ⅰ・Ⅱ	田邊 浩
社会システム論演習Ⅰ・Ⅱ	田邊 浩
コミュニティ政策論Ⅰ・Ⅱ	眞鍋 知子
コミュニティ政策論演習Ⅰ・Ⅱ	眞鍋 知子
農村計画論Ⅰ・Ⅱ	林 直樹
農村計画論演習Ⅰ・Ⅱ	林 直樹
国際障害学Ⅰ・Ⅱ	堤 敦朗
国際障害学演習Ⅰ・Ⅱ	堤 敦朗
経営情報戦略論Ⅰ・Ⅱ	白石 弘幸
経営情報戦略論演習Ⅰ・Ⅱ	白石 弘幸
経営科学Ⅰ・Ⅱ	寒河江雅彦 ●
経営科学演習Ⅰ・Ⅱ	寒河江雅彦 ●
会計記号システム論Ⅰ・Ⅱ	竹島 貞治
会計記号システム論演習Ⅰ・Ⅱ	竹島 貞治
財務分析論Ⅰ・Ⅱ	佐藤 清和
財務分析論演習Ⅰ・Ⅱ	佐藤 清和
管理会計論Ⅰ・Ⅱ	阪口 博政
管理会計論演習Ⅰ・Ⅱ	阪口 博政
オペレーションズマネジメント論Ⅰ・Ⅱ	柳 在圭
オペレーションズマネジメント論演習Ⅰ・Ⅱ	柳 在圭
グローバルマネジメント論Ⅰ・Ⅱ	齋藤 毅
グローバルマネジメント論演習Ⅰ・Ⅱ	齋藤 毅
マーケティングⅠ・Ⅱ	金間 大介
マーケティング演習Ⅰ・Ⅱ	金間 大介

※氏名欄右の○は、2023年3月に退職予定の教員です。

※氏名欄右の●は、2024年3月に退職予定の教員です。



外国人留学生日本就職促進プログラム 「かがやき・つなぐ」  
北陸・信州留学生就職促進プログラム

日本での就職・キャリアを考えてみませんか。

プログラム履修者のうち、日本企業就職希望者は 100%日本企業から内定を獲得しています。

本学では、文部科学省「留学生就職促進プログラム」の採択事業として、日本での就職を検討している外国人留学生を対象にビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップを軸とした付加カリキュラムを展開しています。これにより、高度な専門知識と技術を有するだけでなく、日本の企業文化や地域特性を理解した上で地域に根付く、柔軟でタフな高度職業人材を育成し、北陸・信州地域の産業活性化と日本の経済成長に貢献する人材を輩出しています。

英国経済紙フィナンシャル・タイムズにも掲載されたプログラムです（注：webにて現在も掲載中）。プログラム説明会は入学時期に応じて4月・10月の年2回行います。日程は入学後に通知しますので、是非出席してください。

なお、外国人留学生日本就職促進プログラムに係る問い合わせ先は以下のとおりです。

留学生就職促進プログラム事務局  
〒920-1192 金沢市角間町  
TEL 076-264-6045

### 「次世代精鋭人材創発プロジェクト」

金沢大学は、博士後期・博士課程において挑戦的かつ分野融合的な研究を実践することにより、新たな価値を創造し、イノベーションを先頭に立って牽引することのできる優れた博士人材を育成しています。

令和 3 年度から、修了後は我が国の社会課題の解決に貢献するという強い意志を持つ、特に優秀な人材をサポートするため、「次世代精鋭人材創発プロジェクト」を開始しました。

選考を経て採用された博士後期・博士課程の学生は、いずれも修業年限内に限り、以下の経済的支援や、多様なキャリアパス形成に向けた支援を受けることができます。

①給付型の研究奨励費 [月額 18 万円 (年額 216 万円) ]

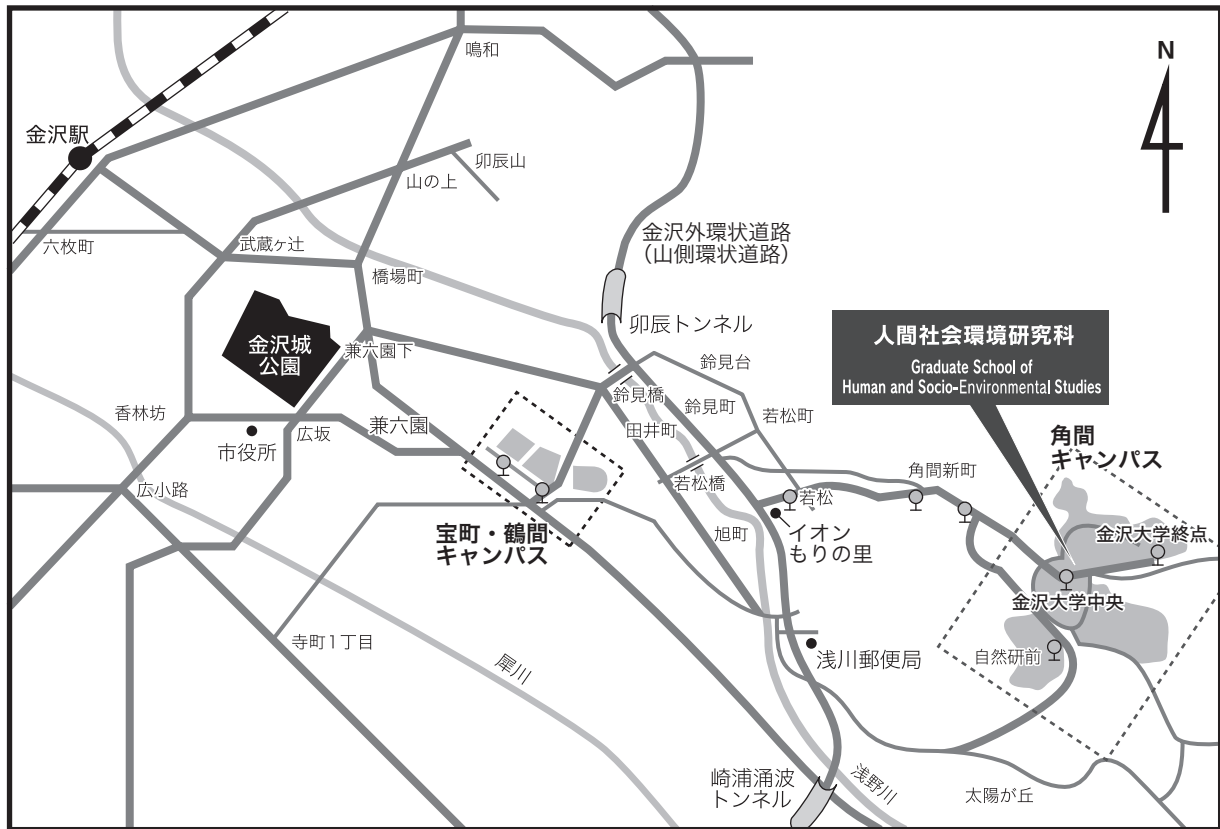
②研究費 [年額 40 万円 (予定) ]

◇ 入学料 (入学料を納入する必要のある者のみ)・授業料全額免除  
(金額は令和 3 年度の実績であり、変更となる場合があります)。

なお、申請に際しては、概ね年額 240 万円以上の十分な水準の安定的な収入を得ていないことなど条件がありますので、詳細は必ず下記までお問い合わせください。

金沢大学学務部学務課 E-mail [gakumu-sk-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:gakumu-sk-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp)

# 金沢大学大学院人間社会環境研究科入学試験場案内略図



## 金沢大学大学院人間社会環境研究科へのアクセス

### 【路線バス利用】(北陸鉄道バス利用の場合)

J R 金沢駅兼六園口(東口)から北陸鉄道バス「金沢大学(角間)」行き乗車, 「金沢大学(終点)」

下車, 徒歩1分(人間社会第1講義棟まで)

※「金沢大学中央」で下車した場合は, 徒歩約5分(バス所要時間約40分)

### 【タクシー利用】

J R 金沢駅兼六園口(東口)から約30分

## 問合せ先

〒920-1192 石川県金沢市角間町  
金沢大学人間社会系事務部学生課入試係

T E L 076 (264) 5600~5602

F A X 076 (234) 4167

E-mail [n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp)

金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト

<http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

